

本が見あたらないときは、かかりの人に聞いてね。予約もできます。新しい本は他にもあります。小初は1・2年、小中は3・4年、小上は5・6年をめやすにしてください。

『つきーとカーコのかぞく』 おくはら ゆめ／作

・ねこのつきーとからすのカーコはおさななじみ。ある日、カーコが家出した。お父さんたちがふたごのたまごに夢中で、カーコにかまってくれないという。ふたりがつきーの家に行くと、ちょうどカーコの家から電話がきて…。(小初)



『いちかちゃん』 いたう みく

・小学2年のぼくといちかちゃんは同じ年のいとこ。いちかちゃんはいつもぼーっとしているけど、おかしい子でもかわいそうでもなくて…。相手の立場に立って考えること、人をありのままに受け入れることの大切さを伝える物語。(小初)



『おしりたんてい 17 映画おしりたんてい さらば愛しき相棒よ』

・ハッタンタウンで絵画をニセモノにすり替える事件が起きていた。おしりたんていの前に、かつての相棒スイセンがあらわれ…。探し絵あり。「映画おしりたんていさらば愛しき相棒よ」と同時上映の短編をアニメコミック化。(小初)



『こらしめじぞう 2』 村上 しいこ

・フェイクニュースをでっちあげるやつ、友だちのお金を自分のものにするやつ…。おじぞうさんに手を合わせ、ムカつく相手の名をとええると、代わりにこらしめてくれる!? こわくて面白い短編全3話を収録。(小中)



『山猫マルシェへようこそ まほうのマーメイド』
茂市 久美子／作

・働いていたジャムの店がつぶれた悠一は、空き家になっていた田舎のおばあさんの家で暮らすことに。おばあさんの「まほうのマーメイド」のレシピを見つけ、「まほう」を待つ人たちのためにマーメイドやジャムを作り始め…。(小中)



『バラクラバ・ボーイ』 ジェニー・ロブソン／作

・バラクラバ帽をかぶった転入生のトミーがやってきた。なぜトミーは帽子をかぶってるの? あの帽子の下には何が隠されている? ぼくとドゥミサニの退屈な日々は、「バラクラバ・ボーイ」によって大きく変わり…。(小中)



『いいわけはつづくよどこまでも』 岡田 淳／作

・ぼくのおじいちゃんはすごい。奇想天外な遅刻のいいわけや、セールスマンをしていた頃、とある王様を助けたことなど、びっくりする話をたくさんしてくれて…。6話を収録。『神戸新聞』等掲載に書き下ろしを加えて書籍化。(小中)



『こそあどの森のないしょの時間』 岡田 淳

・だれでも、胸の中に大切に秘めている大切なできごとがある。スキッピー、トマトさん、ポットさん、スマレさん、ギーコさん、トワイエさん、ミルク、7人の森のひとそれぞれのないしょの話を、1話ずつおさめた短編集。(小中、小上)



『誰も知らない小さな魔法』 大庭 賢哉／作・絵

・魔女とその弟子が、人知れず街の人々にかける小さな魔法とは? 引越し先の自分の部屋と以前の部屋がつながってしまう「ひみつのへや」など、漫画と小説がひとつになった不思議な短編6編を収録する。(小中、小上)



『変身 消えた少女と昆虫標本』 作／佐藤 いつ子

・夏休みの終わり、友人が失踪した。彼女の父親が学校にもってきた昆虫標本には、正体が分からない虫がいて…。友人への憧れ、家族との関係、知らなかった自分への困惑。様々な物語が交わりあい、一つのたかひに向かっていく!(小上)



『旅する妖精たち』 有間 カオル

・美しい水と光から生まれた、植物の妖精「キララ」は、ハーフソウルとなる植物を探す旅に出る。仲間たちが、次々と運命の植物を見つけていくなか、ずっと旅を続けているキララは…。各々の最適解を見つけていく妖精たちの物語。(小上)



『ラッキーボトル号の冒険』 クリス・ウォーメル／作

・嵐で船が難破し、大海の孤島に流れ着いた10歳の少年ジャック。島には巨大なカメと、一人の男が住んでいた。ロビンソンと名乗る男と洞穴で暮らすようになったジャックは、島に海賊の宝が埋まっているかもしれないと気づき…。(小上)



『はなしをきいて 決戦のスピーチコンテスト』 マギー・ホーン

・スピーチコンテストで優勝を目指す、ミドルスクール2年生のヘイゼル。彼女の宿敵は、昨年の優勝者のエラだった。学校の人気者エラと友だちがいないヘイゼルはほとんど接点がなかったが、ある出来事をきっかけに急接近し…。(小上)



『ロボットのたまごをひろったら』 作／奈雅月 ありす

・頭脳明晰な巧、人懐こいポヨ、話すのが苦手なテツの3人は、ひよんなことから赤ちゃんロボットを育てることに。意見が対立しながらも3人は次第に心を通わせていくが、ロボットを狙う大人たちがあらわれて…。(小上、中)



『サーファーガール かがやく波に乗れ!』 麻生 かづこ／作

・突然の父親の死で、海の近くにある祖父母の家に母親と身を寄せる小学5年生のひなた。母親に内緒でサーフィンを始めた彼女は、友達と一緒に地元のサーフィンキッズ大会に出場することになり…。(小上、中)

